

existence.img

KUNST ARZT では 3 年ぶり 4 度目となる
彌永ゆり子の個展を開催します。

彌永ゆり子は、パソコンでの描画過程を映すモニターと
その「フレーム」的役割のオブジェとの構成で
独自の視覚世界を展開するアーティストです。

“デジタルに感じている魅力“を引き出すために厳選されたプラ
スチックシートやネット、チープなオブジェが、動画を再生する
モニターや基盤を取り巻き、またそこへの電源供給配線も構成要
素となっています。近作は、大胆に空間を使うインスタレーショ
ンへと発展しています。 (KUNST ARZT 岡本光博)



material flow / signal 2024 年 撮影: 富田了平

展覧会コンセプト

自分の内にあるイメージをものを通して拡張させていく、あるいはものから受けたイメージを自分の中で絵と
して解釈し、かたちづくる。最近はそのように制作している。

パソコン上でファイルの種類を識別するためにつけられる、「ドット (.)」から始まる文字列を拡張子と呼ぶが、
その「拡張」という言葉にかけて、相互に影響しあう関係性 (存在とイメージ) をこのような展示タイトルに
集約させた。

私が扱うものは、画像データやモニター、基板、大量生産品など、いずれもそれそのものは唯一性がなく、世
の中に複数存在する、あるいは実質的には複製可能であるものだ。

しかし、機能性を重視して量産されているような製品は、改めて見つめてみると、モノとしてノイズが少なく、
発色も良く、あるいは無色で、私にとっては魅力的に映った。

空間をキャンバスと見立てた時に絵の具として扱うにはちょうど良い素材かもしれない。

それぞれは、消費され続け価値をスルーされてきたような唯一性がないものだが、それを自分の手で一つ一つ
を組み合わせたときに、唯一のものや唯一の空間になっていく。最近、そういったことが面白いと思って制
作している。

経歴

1991 年 神奈川県生まれ 京都在住

2018 年 京都市立芸術大学 大学院美術研究科絵画専攻油画 修了

近年の主な展示

個展

2022 年 flotsam 堀川新文化ビルチング (京都)

2022 年 (inter)ference りさんずい (京都)

2021 年 IMG://shape/weightless/ KUNST ARZT (京都)

グループ展ほか

2024 年「第一回 BUG ART AWARD ファイナリスト展」BUG (東京)

2024 年「逃げ水をすくう」The Terminal KYOTO (京都)

2023 年「Substance, Screen」FINCH ARTS (京都)

2023 年「SICF24」スパイラル (東京) *山城大督賞

2023 年「本物の人工物」YOD TOKYO (東京)

2023 年「Speedy Gallery Holiday Exhibition」Speedy Gallery (ロサンゼルス)

2024 年 6 月 15 日 (土) から 23 日 (日)

12:00 から 18:00 月曜日休み

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

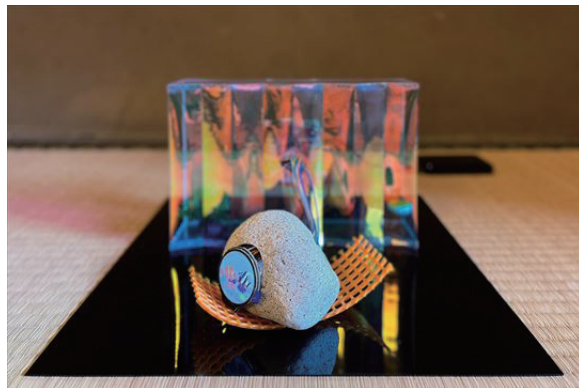
kunstarzt@gmail.com

アーティスト・ステートメント

私は小さい頃からパソコンで絵を描いて遊んでいて、現在でもそれを続けている。
それは自分にとっては紛れもなく「絵を描く」という行為だが、出来上がったものは画像データという形式になっていく。絵画として「パソコンで描いた絵」を捉え直した時、これがひとつの絵画、あるいは美術作品として認識されるためには、ただ印刷したり、静止画で見せるだけでは何か表現として不足している気がした。
そこで私は、描画過程を見せることで絵画に時間性を持たせると同時に、パソコンで描かれた絵では見えにくい、描画の痕跡のようなものを補えるのではないかと考えた。また、質量のある絵画にはない”質感がない”ということ、あるいはピクセルという単位がデジタル特有の質感になっていくのではないかと。
モニターはピクセル感を重視したり、映像作品との差別化を考えるにつれて小さいものを扱うようになっていった。
それにより電子基板やモニター自体が持つ物質感が表出しはじめた。
現在は電子基盤や小型モニター、ケーブルなど、そのものの自体の物質感にも意識を向けて、他の素材と組み合わせた表現を試みている。



「flotsam」2022年
映像(6分19秒・ループ)、Raspberry Pi、LCDモニター、ビニールプール、ホース、ネットロンネット、PVCシート、フェイクグリーン、グレイジングビート、人工水草



「IMG fish」2024年
映像(5分42秒)、アクリル板、PVCシート、石膏、1.28インチ円形モニター、樹脂成型ネット、塩ビ板、フェイクグリーン、反射板



「IMG basket」2023年
映像(大モニター:15分28秒・ループ/小モニター:54秒・ループ)、Raspberry Pi、5inchLCDモニター、1.14inchモニター、ブレードホース、PVCシート、フェイクグリーン、プラネジ・ナット、ピンポン玉、ダストボックス



「on the (inter)net #6」2023年
映像(9分20秒・ループ)、Raspberry pi、3.5inch LCDモニター、ブレードホース、アルミシート、布、PVCシート、チュール、フェイクグリーン、カプトンテープ
©Yuriko Iyanaga, Photo by Haruka Oka, Courtesy of FINCH ARTS